

キヤノンITソリューションズEDIソフト「CollaboLinkシリーズ」  
 流通BMSソリューションで販売拡大を開始  
 ～プラネット主催の接続テストにおいて高い接続性を証明～

キヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:武井 堯)は、業界VAN(付加価値通信網)運営会社の株式会社プラネット(本社:東京都港区、代表取締役社長:玉生弘昌)が企画実施した、「流通ビジネスメッセージ標準(以下 流通BMS)」準拠AS2、ebMS対応の通信パッケージ間相互接続テストに参加し、EDIデータ通信パッケージ「CollaboLinkシリーズ」の高い相互接続性を確認したことを受けて、流通BMSソリューション分野における「CollaboLinkシリーズ」の本格的販売を開始しました。

流通BMSは、流通業を中心に、新たな標準EDIの規格として2007年4月に策定したインターネットでのEDIの利用を想定した次世代EDI(電子データ交換)のガイドラインです。従来のEOS(電子発注システム)で採用されていたデータ通信プロトコルであるJCA手順に代わり、次世代型のインターネットEDIに対応したAS2手順、ebMS手順、JX手順が採用されており、国際標準に準拠した仕組みとして主に小売業および卸売業との間で今後の普及が見込まれています。複数対複数の企業間におけるインターネットEDIの効率的普及にあたっては、データに使用する各種コード体系やフォーマット(データ書式)が標準化されている事が前提であり、さらに複数にわたるEDIの相手方の企業との間で双方にデータ通信接続テストが必要であることから、EDIベンダーにはスムーズな導入作業への対応が要求されています。

今回の接続テストは業界VAN(付加価値通信網)運営会社であるプラネットが企画・主催しており、同社のAS2手順によるインターネットEDIサービスである「SMOOTHEDI(R)」接続用に通信パッケージを提供しているITソリューションベンダー各社に参加を呼びかけて実現しました。キヤノンITソリューションズは、2007年4月から流通BMSに対応した製品として販売を開始しているEDIデータ通信パッケージ「CollaboLinkシリーズ(CollaboLink for AS2、CollaboLink for ebXML)」で参加し、参加各社のいずれの製品に対しても相互接続に成功しました。

キヤノンITソリューションズでは、本接続テストにより主要なEDIベンダー各社の通信パッケージ相互接続が一律に検証されたことから、短納期・高信頼のソリューションの提供が可能であるとみて、流通BMS対応パッケージ「CollaboLinkシリーズ」をEDIソリューションの中期的視野での中核製品と位置づけ、大手・中堅小売業を中心に積極的な販売促進・新規開拓を行う予定です。

■ 相互テスト概要

実施期間	2008年4月下旬
実施内容	下記のベンダー10社のデータ通信パッケージ相互間での接続テストを、AS2手順対応通信パッケージ同士45通りおよび、ebMS通信手順対応パッケージ同士6通りの組み合わせを実施。
接続環境	ローカルネットワークで直接接続
テスト項目	流通BMS推奨値での接続、その他AS2、ebMSが各々実装している機能について、実際に使用することが想定される設定値での接続等(AS2=15項目、ebMS=9項目)。

※ インターネットEDIにおけるデータ通信の信頼性を保障する電子認証については、現時点で唯一の認証局であるインテック「EINS/PKI + forEDI」から発行された証明書を使用。

■ 相互接続テスト参加社・対象プロトコル一覧(社名 五十音順)

ITソリューションベンダー 社名	接続テスト実施プロトコル	
	(AS2手順対応)	(ebMS手順対応)
アイウェイ・ソフトウェア(株式会社アシスト)	○	—
株式会社インターコム	○	—
株式会社インテック	○	—
ウルシステムズ株式会社	—	○

キヤノンITソリューションズ株式会社	○	○
スターリングコマース株式会社	○	—
セイコープレジジョン株式会社	○	—
株式会社セゾン情報システムズ	○	○
株式会社データ・アプリケーション	○	○
マイクロソフト株式会社	○	—

<用語>

VAN	Value Added Network・付加価値通信網
AS2	(Electronic Data Interchange-Internet Integration-Applicability Statement 2) インターネットEDIの国際標準セキュア通信プロトコルで、HTTPプロトコルを使ったもの。リアルタイムかつ安全にデータを交換できる。EDIINTが策定。
ebMS	(ebXML Messaging Service、ebXML MS) インターネット上で、高速かつ安全なEDI環境を構築するためのEDI国際標準仕様。
EOS	(Electronic Ordering System) 電子発注システム。
JCA手順	日本チェーンストア協会が定めたデータ交換用手順。
データ通信 プロトコル	(=通信手順、通信規約)ネットワークを介してコンピュータ通信を行なう上で相互に決められた約束事の集合。
インター ネットEDI	インターネット経由でマシンtoマシンの接続をして取引の自動化を実現する仕組み。

■ キヤノンITソリューションズについて

キヤノンITソリューションズではさまざまな方式が乱立するEDI業界において、お客さまのご要望に合わせたEDIシステムをご提供するべく、20年以上前より最先端の製品ラインナップを揃えてまいりました。また、EDIの業界標準の策定にも積極的に参加し、標準に対応した製品をいち早くリリースしています。

■ プラネットについて

プラネットでは2005年8月に、AS2手順によるインターネットEDIサービスである「SMOOTHEDI(R)」をリリースし、いち早くインターネットEDIへ対応し、業界への普及促進を行っていました。通信パッケージを提供するITソリューションベンダー各社との交流も深めていたことなどから、今後のインターネットEDIの普及を見据えて、各社と協力し、2008年4月下旬にデータ通信パッケージの相互間接続テストを企画し実施しました。